

経口5FU製剤が使用できない 進行・再発胃癌
【胃癌】FOLFOX療法 患者プロトコール

催吐リスク
中等度
放射線併用なし

投与プロトコール 1コース14日間 コース制限なし 《開始時基準 PS:0~1 年齢:18~75歳》		投与量	投与日	投与時間	備考	
ルートキープ	生食500mL	—	—	—	5-FU: (持続)の投与量に 合わせて、トレフューザー typeT流量換算表より生食 量を算出する。	
プレメディ	5-HT3R拮抗剤 + デキサメタゾン + 生食100mL		Day1	30分		
①	エルプラット: 85mg/m ² 5%ブドウ糖 500mL	mg	Day1	2時間		
②	レボホリナート: 200mg/m ² 5%ブドウ糖パック 250mL	mg	Day1	2時間		
★①、②は同時に投与						
③	5-FU(急速): 400mg/m ² 5%ブドウ糖 100mL	mg	Day1	全開		
④	5-FU(持続): 2400mg/m ² 生食 (トレフューザーtypeT流量換算表より算出)	mg mL	Day1	46時間		

◆5-FU持続投与では、トレフューザーtypeT150mLを使用し、3.7ml/Hrにて投与。
 ◆5-FUと生食の比率で流速変化する為、生食投与量はトレフューザーtypeT流量換算表を参照すること。

佐賀大学医学部附属病院